

環境報告ガイドライン対照表

環境省発行の「環境報告ガイドライン2018年版」との対照表を掲載します。

※NTT 公式ホームページに掲載

選択項目	記載ページ
第1章 環境報告の基礎情報	
1. 環境報告の基本的要件	
報告対象組織	1
報告対象期間	1
基準・ガイドライン等	1
環境報告の全体像	—
2. 主な実績評価指標の推移	
主な実績評価指標の推移	20
第2章 環境報告の記載事項	
1. 経営責任者のコミットメント	
重要な環境課題への対応に関する経営責任者のコミットメント	2
2. ガバナンス	
事業者のガバナンス体制	17, 18 ※
重要な環境課題の管理責任者	18
重要な環境課題の管理における取締役会及び形成職務執行組織の役割	18
3. ステークホルダーエンゲージメントの状況	
ステークホルダーへの対応方針	※
実施したステークホルダーエンゲージメントの概要	31, 32, 33, 34, 35 ※
4. リスクマネジメント	
リスクの特定、評価及び対応方法	※
上記の方法の全社的なリスクマネジメントにおける位置づけ	※
5. ビジネスモデル	
事業者のビジネスモデル	※

選択項目	記載ページ
第2章 環境報告の記載事項	
6. バリューチェーンマネジメント	
バリューチェーンの概要	※
グリーン調達の方針、目標・実績	25 ※
環境配慮製品・サービスの状況	9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 21
7. 長期ビジョン	
長期ビジョン	3, 4, 5, 6, 7 ※
長期ビジョンの設定期間	5, 6 ※
その期間を選択した理由	5, 6 ※
8. 戦略	
持続可能な社会の実現に向けた事業者の事業戦略	6, 7 ※
9. 重要な環境課題の特定方法	
事業者が重要な環境課題を特定した際の手順	※
特定した重要な環境課題のリスト	※
特定した環境課題を重要であるとした判断をした理由	※
重要な環境課題のバウンダリー	※
10. 事業者の重要な環境課題	
取組方針・行動計画	8, 20
実績評価指標による取組目標と取組実績	20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30
実績評価指標の算定方法	21
実績評価指標の集計範囲	1
リスク・機会による財務的影響が大きい場合は、それらの影響額と算定方法	※
報告事項に独立した第三者による保証が付与されている場合は、その保証報告書	※